

事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年 04月 25日

事務事業名	SL運行協議会参画事業				担当	総務部 企画課 企画調整係					
政策名	E 地域と産業が調和する活力あるまちづくり				電話番号	0285-83-8102					
施策名	4 観光の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業						
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成5年度～)					
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	6企画費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)						
事業概要	真岡線SL運行協議会は、真岡線沿線市町のイメージアップと開発振興を図るために、沿線の地方公共団体が実施するSL運行事業を推進する為に設立された団体であり、SL列車の運行、SL列車に係る各種イベント等を実施している。設置者は芳賀地区1市4町と筑西市、事務局は芳賀地区広域行政事務組合。なお、SL運行業務は協議会が真岡鐵道株式会社へ委託している。										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 28年度実績 会議への参加 イベントの参加、支援	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
29年度計画 28年度実績と同様	ア 会議参加回数	回	3	2	2	2	2
	イ SL列車に係るイベントの開催数	回	18	20	19	20	20
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 SL運行運行協議会 SL運行	ウ SL貸出し	回	3	3	2	2	1
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) SLを運行し、多くの人に乗ってもらう。 真岡市や沿線市町のイメージアップ・観光振興に役立てる。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 観光の振興	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 協議会会員数	団体	7	7	7	7	7
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	イ SL運行日数	日	108	112	134	132	132
	ウ						
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	エ						
	オ						
(2) 総事業費の推移	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 県庫支出金	千円	0	0	0	0	0
投 入 量	事業費	財源内訳	県支払金	千円	0	0	0
	事業費		地方債	千円	0	0	0
事業費	その他		その他	千円	0	0	0
	一般財源		一般財源	千円	39,019	39,056	39,057
人件費	事業費計(A)		事業費計(A)	千円	39,019	39,056	39,057
	正規職員従事人數	人	正規職員従事人數	人	1	1	1
	延べ業務時間	時間	延べ業務時間	時間	20	20	20
	人件費計(B)	千円	人件費計(B)	千円	81	84	83
トータルコスト(A)+(B)		千円	トータルコスト(A)+(B)	千円	39,100	39,140	39,141
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		昭和45年3月まで真岡線にSLが走っていた。SLの豪快な走りを通して21世紀を担う子どもたちに夢とロマンを与え、誇りと愛着の持てる魅力あふれるふるさとづくりや、沿線市町のイメージアップと観光振興のため、平成2年からSL列車の復元に着手した。 SLの運行を行う為にSL運行協議会が設置された。(平成5年4月5日発足)					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		平成10年11月から2台目のSLC11型を導入、重連運転を開始するようになった。 SLファンは多く、運行日には大勢のカメラマンで賑わっているが、運行当初に比べ、乗客数は年々減少し、ここ数年は横ばい状態にある。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある SLを運行することにより、観光振興やイメージアップを図っている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある SLは真岡市や沿線市町にとっても貴重な観光資源であり、観光振興やイメージアップに役立っている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある SL運行を支援するものであり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある SLを運行し、多くの人が乗車し、イメージアップや観光の振興につながっており、乗車人数を増やしたりSLのまちとしての知名度が上っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ここまで定着してきた真岡線のSLを廃止又は休止すると、観光振興、イメージアップが图れなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 協議会の負担金は、市町で分担しているので削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議への出席と負担金交付事務の人件費であり、削減困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事業は、SLを運行し、多くの人に乗車してもらい沿線市町のイメージアップや観光振興に結びつけるものであり、一部の受益者に偏っているものではない。 SL利用者は、料金を払っている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								